

[044_04/06] 経済学研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/4474871>

出版情報：経済学研究. 44 (4/6), 1979-08-10. 九州大学経済学会
バージョン：
権利関係：



経済学研究 総目次

第 43 卷

第 1 号 (昭和52年 4 月)

論 文

- 株式の時価発行と自己金融……………片 山 伍 一
組織目的と組織統制……………平 池 久 義
——ウィリアムソンの所説を中心として——
シュピーートホフにおける「営利資本」概念と資本市場について……………小 野 隆 弘
ローザ・ルクセンブルグ『資本蓄積論』についての一考察……………岡 村 東洋光

資 料

- 土地所有権の分割……………湯 村 武 人
——退職直接税局長ジメル氏による1883年 4 月 4 日の講演——

第 2 号 (昭和52年 6 月)

論 文

- 19世紀フランスにおけるロワール・エ・シェル県農村の動向……………湯 村 武 人
配当の利子化と自己金融……………片 山 伍 一
特別剰余価値と市場価値との関連に関する一考察……………立 花 敬 雄
富と福祉と経済学……………桂 木 健 次
——シスモンディ研究の現代的視座——
貿易・為替・金融とマーチャント・バンカー……………服 部 彰
——ロンドン金融市場の分析 (1)——

第 3 号 (昭和52年 8 月)

論 文

- 過剰資本と利潤率低下の法則 (上)……………逢 坂 充
——『資本論』第 3 部第 3 篇第15章とは何か——
国際的信用制度と世界市場恐慌 (I)……………徳 永 正二郎
第一次大戦期におけるアメリカの労働政策の展開……………鈴 木 滋
——産業民主制との関連で——
レンテンマルクの「奇蹟」の財政……………中 村 良 広
マルクス資本理論の生成……………高 倉 泰 夫
——「資本一般」の形成によせて——

第 4 号 (昭和52年10月)

論 文

- 19世紀フランス農村における年雇労働力について……………湯 村 武 人
米国の農産物取引と商品取引所……………中 村 靖 志
アメリカの資本輸出と公的ドル・バランス……………平 岡 賢 司
——賠償問題との関連を心中にして——

「流通信用」と再生産……………	坂 本 正
——ヒルファディングにおける商業銀行機能の把握 (1)——	

第 5 号 (昭和52年12月)

論 文

現代資本主義と1974, 75年恐慌……………	木 下 悦 二
福岡藩初期の本支藩関係と家臣団統制……………	松 下 志 朗
——検地と知行制を中心に——	
チューネン『孤立国』の主要課題, 方法と地代理論……………	伊 東 維 年
——主要課題と方法——	
第一次大戦までのイギリスの一次産品貿易と商品先物取引……………	中 村 靖 志

第 6 号 (昭和53年 2 月)

論 文

再論, 年雇労働力について……………	湯 村 武 人
——18世紀末から19世紀初めにかけてのイギリスの場合——	
秋月藩の知行制について……………	松 下 志 朗
宇野『恐慌論』とヴァイクセル……………	徳 永 正二郎
——国際的信用制度と世界恐慌 (2)——	
金融市場と信用創造……………	服 部 彰
——国際金融市場論展開のために——	
雇用保障と職務財産権思想……………	鈴 木 滋
——コモンズ理論との関連で——	

第 44 巻

第 1 号 (昭和53年 4 月)

論 文

経営理念・経営思想・経営学説……………	川 端 久 夫
——三戸・雲嶋両教授の所説にかこつけて——	
過剰資本と利潤率低下の法則 (中)……………	逢 坂 充
——『資本論』第 3 部第 3 篇第15章とは何か——	
国民経済と生産の国際的關係……………	徳 永 正二郎
——世界市場概念と関連して——	

資 料

大隈農村社会経済史料 (Ⅷ)……………	秀 村 選 三
——守屋舎人日帳(8) (天保 3 年 1 月～6 月) ——	

第 2・3 号 (昭和53年 8 月)

論 文

資本輸出と世界市場の構造変化……………	徳 永 正二郎
——第一次大戦前「パクス・ブリタニカ」の実像——	

「資本一般」の展開過程 (1857—62)	高 倉 泰 夫
新国際経済秩序における共通基金による緩衝在庫構想について	中 村 靖 志
アダム・スミスの資本蓄積論にみる歴史と理論の問題	関 源太郎
14・5世紀ツンフト制度の変容について	田 北 広 道
——ケルン綿・絹工業を中心として——	
固定資本の更新と景気循環の周期性	田 中 克 尚
経済恐慌と軍事支出	中 村 達
資 料	
1866年のフランスの「農業アンケート」のアルザス編	湯 村 武 人
大隅農村経済史料 (IX)	秀 村 選 三
——守屋舎人日帳(9) (天保3年7月～12月) ——	
翻 訳：フランクリン「愚考 紙幣の本質と必要」	福 留 久 大
昭和51年～53年度学位論文要旨・論文審査要旨	

第4～6号

(昭和54年3月)

論 文

家畜と社会	湯 村 武 人
——イギリスの場合とフランスの場合——	
為替相場と国際収支	木 下 悦 二
近代管理学の労使関係観	川 端 久 夫
——バーナードにおける協働とコンフリクト——	
国民勘定システムの構造と変換	武 野 秀 樹
財務諸表公開の論理・再論	津 守 常 弘
資本循環の「統一」と資本流通過程	逢 坂 充
——再生産の視点と諸資本の競争 (4)——	
佐賀藩の石高制と地米	松 下 志 朗
マルクス残虐立法論の源泉	福 留 久 大
——イーデン『貧民の状態』——	
「大不況」と世界市場	徳 永 正二郎
——第一次大戦前の世界市場構造の分析——	
サービス商品の価値と商品体	刀 田 和 夫
——赤堀邦雄教授の所説に関連して (1)——	
西独における株式所有構造の展開	丑 上 優
——J.C. レーファックスの所説を中心として——	
地方自治体の根拠と地方財政論の方法について	中 村 良 広
岩元和秋教授略歴及び著者・論文目録	